肝属川（きもつきがわ）と支川（しせん）

肝属川23km付近

下谷川1km付近

姶良川4km付近

串良川9km付近

肝属川河口部付近

高山川2km付近

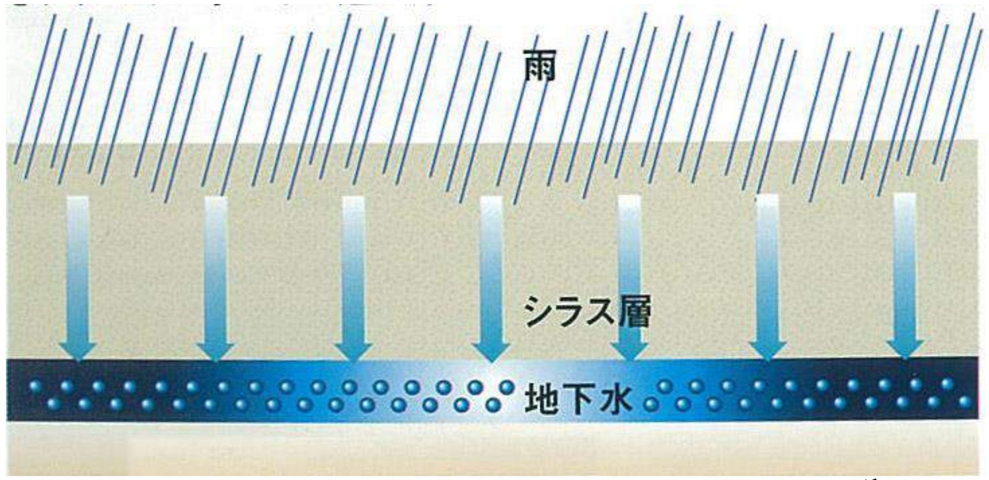
平成18年3月撮影

苦労していた水の確保

笠野原（かさのはら）台地は水が地表にたまりにくいため、水は深井戸から汲み上げなければならず、作ることができる農作物も限られていました。

シラス（乱した状態）

鹿児島県には、シラスと呼ばれる火山噴出物が広く分布しています。



シラス台地では雨水が地表にたまらず地下水に

牛を使った水の汲み上げ(昭和2年当時)

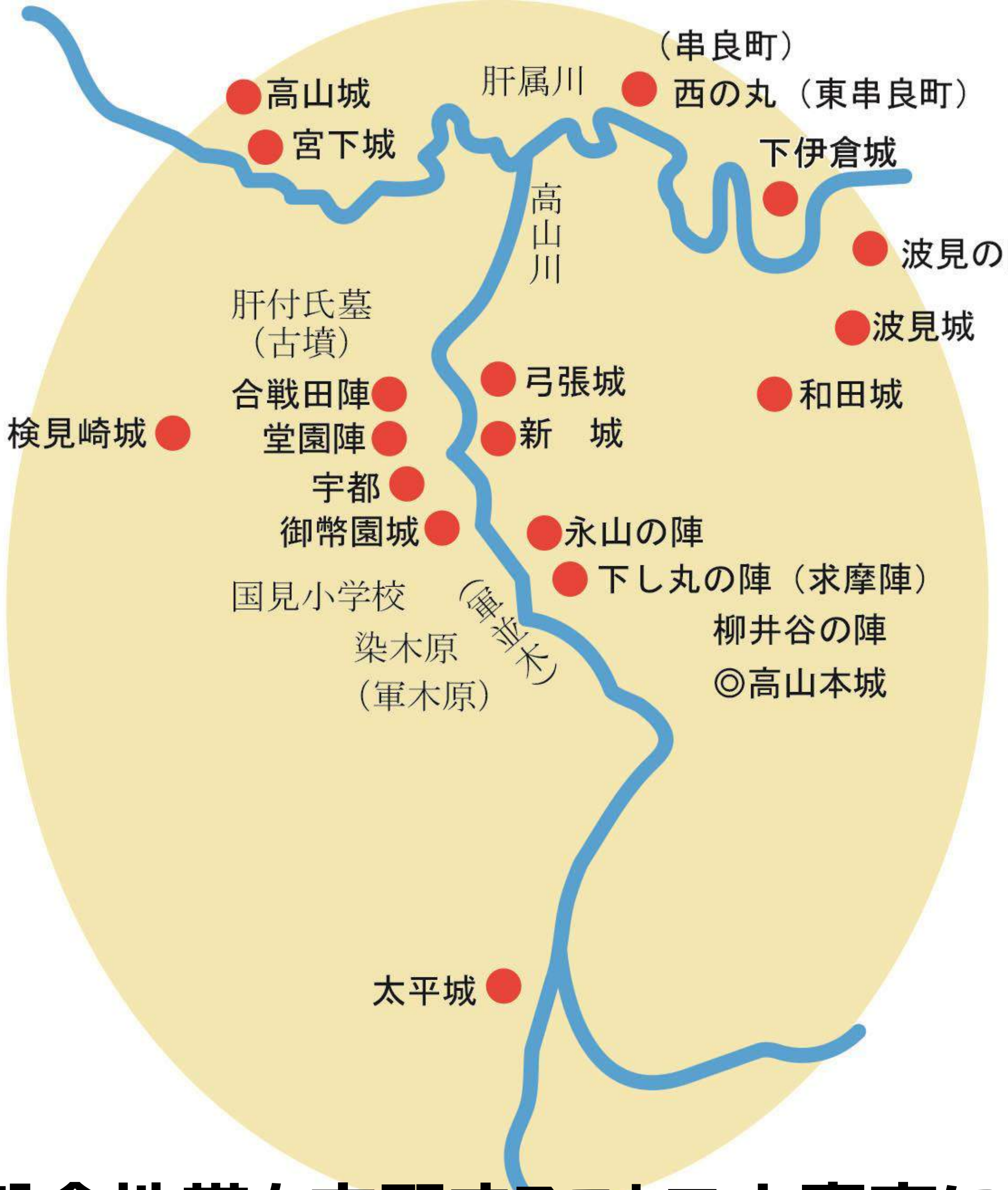
かんがい事業が始まる前の笠野原台地
（シラス台地）

地域の豊かさを支えた肝属川（きもつきがわ）

肝属川は、古くからたくさんの人々の生活を支え、米作りも盛んに行われていました。

弥生時代に集落があったことを示す王子遺跡（鹿屋市）

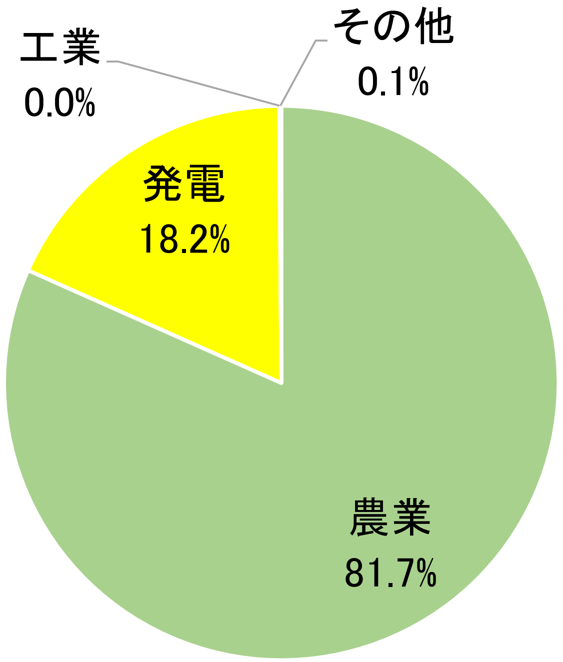
肝属川流域に築かれた唐仁古墳群（東串良町）
※九州で最大級の大塚古墳がある



穀倉地帯を支配することで大豪商になった肝付氏が築いた多数の城

肝属川(きもつきがわ)と地域の産業

肝属川の水は、主に米や野菜づくり、豚や牛を育てるために役立ち、地域のくらしと産業を支えています。



※飲料水は地下水を利用しています

肝属川の水利用状況

鹿児島黒牛、鹿児島黒豚は鹿屋市が県下１位の生産地

鹿屋市、肝付町、東串良町の主な名産品

肝属川(きもつきがわ)の支川(しせん)を利用(りよう)したかんがい事業(じぎょう)

笠野原(かさのはら)台地の農業用水は串良(くしら)川上流からひいています。
肝属中部台地の農業用水確保のため、ダムを建設中です。

高隈(たかくま)ダム（串良川上流）

荒瀬(あらせ)ダム（荒瀬(あらせ)川）※建設中

笠野原台地の農地(約4,800ha)**へ**

肝属中部台地の農地(約1,500ha)**へ**

収穫量の増加、作物の種類が豊富に

茶畑への散水